

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 1 回松阪市図書館協議会
2. 開 催 日 時	平成 3 1 年 1 月 2 9 日 (火) 午後 2 時~午後 3 時 4 5 分
3. 開 催 場 所	松阪市松阪図書館 2 階 講座室
4. 出 席 者 氏 名	(委 員) ◎ 辻淳子、○ 中村陽子、細野吉夫、宮本満生、井上恵子、 東川有子、横山みち代、鈴木美保、嶋本英世 (◎会長 ○副会長) (事務局) 松阪市図書館館長 (株式会社図書館流通センター) 宮田 生涯学習課長 藤武 生涯学習係長 西尾 生涯学習係 三田 生涯学習係 西村
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2 人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TFL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項・議事録
別紙

平成 30 年度 第 1 回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：平成 31 年 1 月 29 日（火）午後 2 時 00 分から午後 3 時 45 分

○開催場所：松阪市松阪図書館 2 階 講座室

○議題

1. 開会
2. 役員選出
3. 会長挨拶
4. 自己紹介
5. 協議事項
 - ①平成 30 年度松阪市図書館概況について
 - ②その他
 - ・第 6 回松阪市図書館を使った調べる学習コンクール報告
 - ・第 4 回ビブリオバトルまつさか大会報告
 - ③意見交換・提言
6. 閉会

○出席者氏名

【委員】辻淳子、中村陽子、細野吉夫、宮本満生、井上恵子、東川有子、
横山みち代、鈴木美保、嶋本英世 計 9 名

【事務局】松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 宮田

生涯学習課長 藤武

生涯学習係長 西尾

生涯学習係 三田

生涯学習係 西村

●会長あいさつ

会長：市民の代表、地区の代表として様々な意見を出し合い、より一層よい図書館協議会にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

●協議事項

①平成30年度松阪市図書館概況について

館長・事務局：平成30年度松阪市図書館の概況について、ご説明します。

(資料に基づき、館長・事務局から説明)

内容…図書館利用統計、利用状況、定例行事・特別行事、展示コーナー、飯南・飯高地区貸出統計)

委員長：今年度より図書館がリニューアルオープンしました。利用していく中で新しく気付いた事も含め委員の皆様から意見を頂ければと思います。

委員：利用者の楽しみ方の一つとして新刊書のチェックがあると思う。今までは新刊書のコーナーの隣にすぐ座り本を読めるスペースがあったが、今はそういったスペースがないということと、蔵書を検索機で調べる際、嬉野図書館だと座ってゆっくりと検索できるが、松阪図書館では大人が使用するであろう検索機は立ったまま検索しなければならいというところが気になる。もう一つ、リクエストして図書館に本を借りに来て帰るという利用方法であれば、飯南でも飯高でも役場等に端末を置き、その役場に取りに行くということが出来るのではないか。同じ松阪市内なので本を届けるのは市内の連絡便のようなものを利用すればよい。

委員長：飯南や飯高地域の人々の図書館利用についてはこの委員会でもずっと課題となってきた。予算的なこともあるかと思うが今後についてお話いただければと思う。

事務局：飯南や飯高地域の方々には図書館利用についてはご不便をおかけしているところがある。現在指定管理者より各小・中学校に司書を派遣している。派遣している司書たちと協力して飯南や飯高地域の方々にとっても利用しやすい図書館をと考えている。

委員長：松阪市は広い市であるが、やはり住民には等しいサービスをしてほしいと思う。

委員：利用状況を見ると、平成 26 年度くらいから利用が減ってきているように思う。これについてはどのような分析をされているのか。

館長：利用者数等についてですので、明確な回答があるわけではございませんが、松阪図書館で右肩上がり落ちたり上がったりしているのは、利用がほぼ飽和状態になっているのではないかと考えている。施設のキャパシティーもあり、利用の限界が今の利用者数ではないかと思う。今回の松阪図書館の改修で変わった、様々なデータベースにアクセスにできることや時代のニーズに合った利用ができる予約棚などを活かして利用者数等がまた伸びていくと思う。

委員：もしキャパシティーの問題であるのなら、これから先も大きな利用者数増加は望めないかもしれない。そうすると今後の予算交渉の時厳しくなってしまうと思うので、中身の充実や利用者を楽しんでもらうことに務めていってほしい。量だけではなく質の充実のアピールもしていてもらいたい。

委員：今はネットでも本を読める時代なので、ビブリオバトルのような利用者同士が交流できるようなイベントを企画して行ってほしい。自分も参加したことがあり、イベント終了後観覧者と本の話をしたが、それがとてもよかった。本について大人同士が喋れる場が欲しい。いい本を読むと人に話したくなるが、なかなかそういった場は少ない。

館長：利用者参加型のイベント、利用者が発信できるイベントの必要性も認識しておりますので、意見を参考にさせていただき、考えていきます。

委員：図書館のよいところは自分の興味のない分野でも新刊書など実際に本を手にとって読めるところである。また自分が読んで面白かった本を紹介し合う場があるとよい。ベストセラーという訳ではなく、自分の近くの人を読んでおもしろかった本を知れるというのも図書館ならではのよいところだと思う。子供向けのイベントは多いが、中学生以上のイベントはほとんどないように思う。そういったものを企画して行ってはどうか。

館長：ぜひ参考にさせていただき、考えていきたい。

委員：以前利用をしたときに不審者らしき人がいて怖い思いをしたことがあつ

た。その時は図書館職員に巡回などをしてもらった。図書館は公共の施設であり誰が来るかわからない。指定管理の中で不審者対策や防犯等はどうなっているのか。

館長：不審な方がいる場合にはスタッフの中で情報共有するようにして、見回るようにしている。普段は1時間に1度見回りをしているが、不審な方がいる時には回数を増やしている。また危機管理については、警察の協力のもとサスマタを備えていて、訓練も行っている。AEDの訓練・避難訓練も行っている。指定管理の仕事の中にそういった危機管理も含まれている。図書館流通センターの方針で危機管理マニュアルも備えてあります。この件に関してはこれまで以上に留意していきたい。

事務局：図書館の近くに青少年センターがあり、何か事案があった際には連携を取って対応していく。また犯罪を起こさせないという利用者同士の雰囲気作りも一つの手なのかと思う。

委員：全国的には図書館の利用は増えているのでしょうか。

館長：貸出冊数としては全国的に伸びてはいるが、鈍化傾向にあります。人口減少・少子高齢化もあり、これからどんどん減るのではないかと言われています。また予算が削られてくると、本と出合う機会が減り、利用が減ると言われています。

②その他

事務局：「第6回松阪市図書館を使った調べる学習コンクール」・「第4回ビブリオバトルまつさか大会報告」について、ご説明します。
(資料に基づき、説明)

③意見交換・提言

委員：3点質問します。1点目、消毒器について、何冊か借りる時だと手に持ったまま利用しないといけない。横に台など置いてほしい。2点目、本をリクエストをする時にこれまでは本人控えがあったが、今はなくなっている。なぜ本人控えはなくなったのか。3点目、朝5時6時に図書館の前を通った時に電気が点いていることがあるのはなぜか。

館長：消毒液の横の台の設置については他の利用者の声も聞きながら考えていきたい。リクエストの本人控えの廃止については、ひとえに紙資源の節約です。ご理解いただき、ご自分で管理をしていただければと思います。早朝から照明が点いていることについては、5時くらいから清掃が入っております。今は掃除をしているところだけ清掃の方には電気を点けるようにしてもらっています。

委員：調べる学習コンクールについて、応募する学校に偏りがあるように思うがこれは学校の先生からの働きかけによる差になるのか。

事務局：学校の校長先生が集まる校長会で調べる学習コンクールについて全学校に周知をしている。推測の域ではあるが、先生の考え方やまた親たちが協力してもらっている姿を見るので、本人、家族の考え方もあると思う。こういったコンクールは強制するものではないので、作品数を増やしながら質もよくしていきたい。

委員：学校によって図書教育への力の入れ方が違うように思う。今後の利用者になるという事も考えて、図書館のおもしろさなどを子どもたちに教えてもらいたい。

事務局：図書館運営の他に、松阪市では各小・中学校に司書を派遣している。その中で調べる学習コンクールの事や学校の先生へ授業での図書の活用方法、学校図書の修復等行っている。学校教育と連携しながら少しずつ身を結んできているのではないかと思っている。

委員長：図書館に関する活動も含め、子ども達が健やかに育っていったらと思う。今日はそれぞれの意見を出し合いよい会議になったと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上 1時45分終了